

(注)「コモロ連合月報」は、新聞報道等をまとめたものであり、当館として事実関係を確認したものではありません。記事中にコモロ政府の公式見解と異なる内容が含まれる場合もあるため、予めご留意をお願いします。なお、各記事冒頭の日付は、報道された日付です。

コモロ連合月報（2026年6月）

《主な出来事》

【内政】

- 1日（La Gazette） モヘリ統一野党（OUM）が、大統領輪番制の「封じ込め」を非難し、市民動員を呼びかけ。輪番制不遵守は島嶼間対立と国家統一への脅威につながると主張。
- 19日（マダガスカル紙 Les Nouvelles） サンビ元大統領の重篤な心臓疾患治療に伴う医療目的の国外移送を巡り、医師団と検察総長の間で対立が続いている。主治医側は国内で実施できない検査が必要として移送を求める一方、検察側が任命した医師団は「緊急の必要性はない」と主張。この問題が政治問題化する中、当局は政治的介入の懸念を払拭するため、新たに外国の医師や医療機関に再鑑定を依頼する方針を明らかにした。
- 22日（La Gazette） 野党がモロニで集会を開き、サンビ元大統領の国外医療移送を要求した。野党側は、同伴は政治的駆け引きではなく人道上の緊急事態であると主張し、国際社会にも支援を呼びかけた。

【外政】

- 9日（Al Fajr） モロニで開催されたインド洋委員会（COI）第40回閣僚理事会で、議長国がフランスに引き継がれる中、マイヨットの扱いをめぐり仏・コモロ間の外交的緊張が再燃した。
- 12日（Al Fajr） 日本は、UNFPAを通じてアンジュアン島に移動診療車を供与した。引渡式に続き、月経衛生に関する新規事業も開始された。
- 12日（Al Fajr） 日本の資金による「コミュニティの準備・対応・強靱性」事業が、コモロ赤新月社による災害に脆弱な層への支援を強化する。対象地域はMbadjini、Ouallah 及び Miremani。
- 15日（La Gazette） 中国が、北京でコモロ人若者29名を対象に農産物加工・保存技術に関する研修を実施した。研修は20日間行われ、中国農業機械化科学研究院（CAAMS）との交流や史跡訪問も予定されている。
- 29日（Al Fajr） アザリ大統領のマダガスカル公式訪問に際し、外交・公用旅券の査証免除に関する協定、モロニ・アンタナナリボ間の常設政治協議メカニズムに関する協定の2つの協定が署名された。

【経済】

- 2日（La Gazette） BBC Afriqueの記事によれば、コモロはIMFへの債務が少ない国の第3位に位置する。一方、世銀データでは、2025年の債務返済負担がGDP比25.2%に達し、過剰債務リスクが高いと指摘されている。

【社会】

- 30日（La Gazette） コモロの伝統歌「Zifafa」がユネスコ無形文化遺産に正式登録された。この国際的認定は、同国の文化遺産の価値向上を後押しするもの。

1 内政

- 1日 (La Gazette) Dhoihi Dhoulkamal元外相が、サン＝ドニ裁判所で社会保障給付等の不正受給の罪で禁錮2年の実刑判決を受けた。被害額は約25万ユーロとされる。
<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/affaire-dhoulkamal-deux-ans-de-prison-et-un-mandat-darr%C3%AAt-.html>
- 1日 (La Gazette) モヘリ統一野党 (OUM) が、大統領輪番制の「封じ込め」を非難し、市民動員を呼びかけ。輪番制不遵守は島嶼間対立と国家統一への脅威につながると主張。
<https://lagazettedescomores.com/politique/moh%C3%A9li-hausse-le-ton-l%E2%80%99opposition-appelle-%C3%A0-la-d%C3%A9sob%C3%A9issance-civile-.html>
- 4日 (La Gazette) サンビ元大統領の国外医療移送問題について、大統領特別顧問が、同件は政治判断ではなく司法判断に属する問題であると強調した。
- 8日 (La Gazette) 検察総長に提出された心臓専門医による反鑑定報告が、サンビ元大統領の虚血性心疾患を認定し、緊急の国外医療移送を提案した。同件の行方は司法判断に委ねられている。
- 11日 (La Gazette／Al Fajr) サンビ元大統領の医療報告書の公表を受け、La Gazette des Comoresの編集責任者ら2名が拘束された。記者組合は、同措置を報道の自由への脅威として批判し、2名は聴取後に釈放されたものの、司法監督下に置かれている。
<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/el-had-et-touf%C3%A9-plac%C3%A9s-sous-contr%C3%B4le-judiciaire-.html>
- 15日 (La Gazette) サンビ元大統領の国外医療移送を求める嘆願書に対し、アザリ大統領は、同手続きは法令と医学的見解に基づくものであると強調した。一方、サンビ氏の回復を祈る集団礼拝が阻止されたことで、政府の立場に疑念が生じている。
<https://mail.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/%C3%A9vacuation-sanitaire-de-sambi-le-chef-de-l%E2%80%99etat-appelle-%C3%A0-un-cadre-strictement-m%C3%A9dical-.html>
- 19日 (マダガスカル紙 Les Nouvelles) サンビ元大統領の重篤な心臓疾患治療に伴う医療目的の国外移送を巡り、医師団と検察総長の間で対立が続いている。主治医側は国内で実施できない検査が必要として移送を求める一方、検察側が任命した医師団は「緊急の必要性はない」と主張。この問題が政治問題化する中、当局は政治的介入の懸念を払拭するため、新たに外国の医師や医療機関に再鑑定を依頼する方針を明らかにした。
- 22日 (La Gazette) 野党がモロニで集会を開き、サンビ元大統領の国外医療移送を要求した。野党側は、同件は政治的駆け引きではなく人道上の緊急事態であると主張し、国際社会にも支援を呼びかけた。
<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/etat-de-sant%C3%A9-de-sambi-lopposition-r%C3%A9clame-une-%C3%A9vacuation-avant-qu%E2%80%99il-ne-soit-trop-tard-.html>

2 外政

4日 (La Gazette) UNDPがコモロ地質局 (BGC : Bureau Géologique des Comores) に地質学、地球化学、地球物理学の新たな研究室を供与した。コモロにおける地下資源探査・研究の促進に向けた取り組みである。
<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/d%C3%A9veloppement-le->

bureau-g%C3%A9ologique-inaugure-ses-nouveaux-laboratoires-.html

- 9日 (Al Fajr) モロニで開催されたインド洋委員会 (COI) 第40回閣僚理事会で、議長国がフランスに引き継がれる中、マイヨットの扱いをめぐり仏・コモロ間の外交的緊張が再燃した。
- 10日 (Al Fajr) バンダル農業・漁業・手工業相が、Hambyrajen Narsinghen モーリシャス外務担当副大臣と意見交換。両者は主に農業分野の科学技術協力について協議した。
- 12日 (Al Fajr) 日本がUNFPAを通じてアンジュアン島に移動診療車を供与した。引渡式に続き、月経衛生に関する新規事業も開始された。
- 12日 (Al Fajr) 日本の資金による「コミュニティの準備・対応・強靱性」事業が、コモロ赤新月社による災害に脆弱な層への支援を強化する。対象地域はMbadjini、Ouallah及びMiremani。
- 15日 (La Gazette) 中国が、北京でコモロ人の若者29名を対象に農産物加工・保存技術に関する研修を実施した。研修は20日間行われ、中国農業機械化科学研究院 (CAAMS) との交流や史跡訪問も予定されている。
<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/coop%C3%A9ration-29-jeunes-comoriens-participent-%C3%A0-une-formation-en-chine-.html>
- 18日 (Al Fajr) コンゴ民主共和国及びウガンダでエボラ出血熱が拡大する中、AUの緊急会合でアザリ大統領がアフリカ諸国の連帯と保健警戒体制の強化を呼びかけた。コモロは対応資金への参加意思も表明した。
- 22日 (Al Fajr) 内務相がブルキナファソを訪問し、市民安全、住民保護、救助隊員の能力強化について協議した。南南協力の一環。
- 22日 (Al Fajr) コモロ国民議会議長がモロッコで開催された第4回議会経済フォーラムに参加した。同議長は、経済的強靱性の強化と島嶼国向け国際資金動員の重要性を強調した。
- 23日 (Al Fajr) アザリ大統領と中国大使が会談し、二国間関係の深化につき協議した。中国側は、「中国・コモロ運命共同体」の構築に意欲を示し、アザリ大統領は「一つの中国」原則を改めて確認した。
- 24日 (マダガスカル紙Midi) アザリ大統領がマダガスカル独立記念式典に出席する予定。両国間には金塊密輸事件やコロナ禍・コレラ流行による直行便の運休などによる外交的緊張があったが、歴史的・地理的繋がりから連帯関係は維持されている。今回の訪問では、数年間途絶えていたアンタナナリボとモロニを結ぶ航空直行便の再開に関する合意の調印という大きな進展が期待されており、関係修復と新たな協力への第一歩となる。
- 25日 (Al Fajr) コモロ国民議会議長がサウジアラビア大使と会談した。両者は、コモロにおける戦略分野での協力の見通しについて協議した。
- 29日 (Al Fajr) アザリ大統領のマダガスカル公式訪問に際し、外交・公用旅券の査証免除に関する協定、モロニ・アンタナナリボ間の常設政治協議メカニズムに関する協定の2つの協定が署名された。

3 経済

- 2日 (La Gazette) BBC Afriqueの記事によれば、コモロはIMFへの債務が少ない国の第3位に位置する。一方、世銀データでは、2025年の債務返済負担が対GDP比25.2%に達し、過剰債務リスクが

高いと指摘されている。

<https://lagazettedescomores.com/economie/dettes-fmi-les-comores-parmi-les-trois-pays-les-moins-endett%C3%A9s-.html>

- **23日** (Al Fajr) モヘリのBadarssalam太陽光発電所の建設が進展している。8月の開所を前に、アザリ大統領は施設の持続的運用の確保に向けた技術者研修の重要性を強調した。
29日 (La Gazette／Al Fajr) 数週間にわたりガソリンスタンドで燃料不足が続き、市民生活に深刻な影響が出ている。タクシー運転手の中には、給油のために2日間足止めされ、収入を得られない者もいる。<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/manque-de-carburant-le-pays-tourne-au-ralenti-.html>
- **30日** (La Gazette) モロニでは、現在のエネルギー危機を背景に、コモロ国営電力公社 (SONELEC : Société Nationale de l'Électricité des Comores) による計画停電が経済活動に大きな打撃を与えている。

4 社会

- **2日** (La Gazette) モヘリ島フォンボニで衛生環境の悪化が進み、住民の不安と不満が高まっている。廃棄物処理場設置が発表されたが、廃棄物管理体制の整備が急務。
<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/environnement-fomboni-%C3%A9touffe-sous-les-d%C3%A9chets-et-les-animaux-errants-.html>
- **3日** (La Gazette) モロニ刑務所で、意図的に開けられたとされる出口から受刑者27人が脱走した。捜査は継続中で、逃亡者は依然として発見されていない。
<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/eni%C3%A8me-%C3%A9vasion-%C3%A0-la-prison-de-moroni-27-d%C3%A9tenus-dans-la-nature-.html>
- **8日** (Al Fajr) エル・マルーフ病院の契約職員がストを再開。職員らは、病院側が合意を履行せず、3か月分の給与が未払いのままであると訴えている。
- **9日** (Al Fajr) コモロが第5回国勢調査の準備を進めている。データ収集は2027年9月に開始される予定。
- **16日** (Al Fajr) コモロ大学 (UDC) とMidOcean大学 (マレーシア) が学術協力協定を締結した。共同研究、教員・学生交流、共同研修、会議、セミナー等を通じ、国際的な学術連携を強化する。
- **30日** (La Gazette) コモロの伝統歌「Zifafa」がユネスコ無形文化遺産に正式登録された。この国際的認定は、同国の文化遺産の価値向上を後押しするもの。
<https://lagazettedescomores.com/culture/tradition-culturelle-la-zifafa-inscrite-officiellement-au-patrimoine-immat%C3%A9riel-de-lunesco-.html>

(了)